

教 育 長 事 務 報 告

月 日	行 事 名	場 所
5月27日（水）	第8回教育委員会定例会	市役所本庁舎
	北上マラソン大会・全日本マスターズマラソン選手権大会 実行委員会	市生涯学習センター
5月28日（木）	北上市議会 第252回5月臨時会議	市役所本庁舎
	北上市議会 全員協議会	市役所本庁舎
5月29日（金）	コミュニティスクール等連絡協議会)	市生涯学習センター
6月1日（月）	教務主任会議	市役所本庁舎
	2021年周年事業推進会議	市役所本庁舎
6月2日（火）	グルージャ盛岡 表敬訪問（教育長）	市役所本庁舎
	明るい選挙推進協議会（教育長）	市役所本庁舎
6月3日（水）	初任者研修会（教育長）	江釣子地区交流センター
6月9日（火）	株式会社ツガワ フェイスシールド寄贈	市役所本庁舎
6月11日（木）	北上市議会 第253回6月通常会議開会（6月26日 閉会予定）	市役所本庁舎
	サトウハチロー記念「おかあさんの詩」全国コンクール実行委員会	市生涯学習センター
6月17日（水） ～6月19日（金）	北上市議会 第253回6月通常会議一般質問	市役所本庁舎
6月22日（月）	株式会社ソルド マスク寄贈	市役所本庁舎
6月23日（火）	第9回教育委員会定例会	市役所本庁舎
	公私立保育園、認定こども園長会議	市役所本庁舎

6月 教育長事務報告

今定例会では、

- 1 5月28日(木) 第252回北上市議会臨時会議
 - 2 5月29日(金) 第1回コミュニティ・スクール等連絡協議会
- と、事務報告にはありませんが、
- 3 UAEプロジェクトについて
 - 4 新型コロナウイルスへの対応
- 以上4件について報告いたします。

なお、6月11日(木)開会の第253回北上市議会6月通常会議は、6月26日(金)閉会ですので、その詳細につきましては、次回の教育委員会定例会で報告させていただきますが、今回は一般質問から新聞報道の部分のみ報告いたします。

【第252回北上市議会臨時会議】

◇日時 5月28日(木) 10:00～13:25

主な内容についてご報告いたします。

今回の臨時会議は、今年度に入って4回目の臨時会議(4/13, 5/1, 5/18-19)となります。これは新型コロナウイルス感染症対策や経済支援に関する補正予算が主なものですが、それとは別に教育委員会に関わるものも2件ありましたので報告いたします。

1件目は、議案第14号「令和2年度北上市一般会計補正予算(第4号)」のうちの10款教育費に情報機器整備事業(小学校)1,249万7千円と情報機器整備事業(中学校)649万7千円を追加しようとしたものです。これは、児童生徒一人一台タブレット端末を令和5年度までに整備しようとする国の「GIGAスクール構想」を、北上市では今年度中に実現するために、来年3月分のリース料を追加したものです。

2件目は、議案第15号「北上市立江釣子中学校長寿命化改良(建築)第二期工事の請負契約の締結について」です。江釣子中学校の長寿命化工事(R1～R3年度)は全体を三期に分けて施工しており、令和3年度末にはすべての工事が完了する予定です。そのうち、今年度の第二期分の入札があり3億6,850万円で落札したので、請負契約を締結しようとするものです。

議案第14号、第15号いずれもすべて可決されております。

【第1回コミュニティ・スクール等連絡協議会】

- 1 日時 令和2年5月29日(金) 14:00～15:40
- 2 場所 北上市生涯学習センター
- 3 出席者(パイロットスクール、モデル地域、準モデル地域の関係者)

<上野中学区>

上野中：高橋校長ら3名。黒北小：船田校長ら3名。黒北自治協：佐藤会長ら3名。

<南中学区>

南中：盛島校長ら3名。南小：千葉校長ら3名。鬼柳小：八重樫校長ら3名。

相去自治協：及川副会長ら2名。鬼柳自治協：阿部会長ら2名。

<黒西地区> 黒西自治協：佐藤会長ら3名。 <立花地区> 立花自治協：豊田副会長。

4 内容

<説明1> 「国、岩手県のコミュニティ・スクールについて」(25分)

岩手県教育委員会生涯学習文化財課：片方元昭主任指導主事^{もとあき}

<説明2> 「北上市のコミュニティ・スクール等の推進について」(35分)

生涯学習文化課：千田由香里主任、学校教育課：村松雅彦主任指導主事

<中学校区単位によるグループ交流> 「南中学区」「上野中学区」(20分)

5 所感

今回の会議は、令和4年度のコミュニティ・スクール設置に向けて、パイロットスクールとモデル地域、準モデル地域に指定された関係者を対象に、「北上市の目指すコミュニティ・スクール」について、学校や地域の方々の共通理解を図るために、初めて開催された会議です。



概要については概ねご理解いただけただのではないかと思います、今後の

スケジュールや決めるべきことについては、それぞれの学校や地域に持ち帰っていただき、今後の検討課題となります。その顔合わせということで、初めて中学校区単位のグループ交流の場も設けたところです。10月開催予定の第2回連絡協議会までに、それぞれの学校・地域の「学校運営協議会」や「地域学校協働本部」の設置単位などを決めていただき、2月には各学校で「第1回学校運営協議会」を開催し、令和3年度から市内の小中学校や地区に先駆けて、「北上市の目指すコミュニティ・スクール」を実際に運用していただくこととなります。

新型コロナウイルス感染対策等でスケジュール通り進むかどうか心配なところですが、来年度の実施に向け、関係各位と協議し共通理解を図りながら、実現していきたいと考えております。

【UAEプロジェクトについて】

1 プロジェクト名 「UAEと日本の子供たちの友好プロジェクト」

2 概要

東京オリンピックでUAE(アラブ首長国連邦)の代表が着る民族衣装を、日本国内外の12校で育てた日本産の蚕「小石丸」の繭からとれた絹糸で作るプロジェクトです。国内からは当市の更木小学校のほか、東京都と大阪府から9校、国外ではドバイとアブダビの日本人学校が参加しています。

6月10日(水)に各校に先駆けて、更木小学校(4年生17名)で松岡^{さえ}先生(地域おこし協力隊員)の授業が行われ、約30頭の蚕の飼育が始まりました。【資料1】さらに6月18日(木)には、プロジェクトの発起人である清水紀弘氏(Insect Resources Technology 代表取締役)とドバイ日本人学校(和田政男校長)の児童との授業が行われ、その中で更木の桑畑からは松岡さんも授業に参加し、ドバイ・東京・更木をネットで結んだオンライン授業が行われました。【資料2】これからも更木小学校やドバイ日本人学校を始めとする国内外の学校の交流が、様々な形で実施される予定です。

3 所感

今回更木小学校が参加するきっかけとなったのは、以前ドバイとアブダビの日本人学校で養蚕を始めた際に、更木の桑の葉が蚕の餌として使われたことや、ドバイの日本人学校の校長に当市出身の和田校長が赴任(2019.10月)したことなど、様々な経緯でプロジェクト参加が決まっております。今後どのような展開になるかまだ分かりませんが、とりあえず蚕が無事に育ち、来年東京オリンピックが予定通り開催され、UAEの選手団が日本産の蚕からできた絹糸の衣装を着て、予定通り入場行進ができることを願っています。また、これを機会に更木小学校の子どもたちが養蚕について理解を深めると共に、国内外の子どもたちとの交流を通して、様々な貴重な体験ができることも期待しているところです。

【資料1】

2020年(令和2年)6月12日(金曜日)

岩手日報

五輪彩る北上産絹糸

更木小が国際プロジェクト参加

東京五輪でアラブ首長国連邦(UAE)代表が着る民族衣装を、北上市産絹糸などで仕立てようという国際プロジェクトが今月、動き出した。同市の更木小を含む国内外12校で、日本純産種の蚕「小石丸」を北上産の桑で育てる。日本と中東で連携して五輪を盛り上げ、輸出と交流を導く試みで、北上から「現代のシルクロード」をつなぐ。

両国の政府や民間企業、日本人学校などでつくるUAE-IN IPPON友好シルク協議会(東京)が企画した。育てた繭は日本国内で生地にし、UAEナショナル・オリンピック委員会に供給。UAE代表7人と役員約10人が着る民族衣装「カンドゥラ」「アバヤ」と、両国国旗を作る。生地は約7キ必要で、小石丸の繭で足りない場合は日本産で補う。

更木小(滝沢まゆみ校長、児童45人)は10日、各校に先駆け約30頭の飼育を始めた。東京

地元の桑で蚕飼育 UAE衣装に採用へ

都と大阪府の計9校、ドバイ、アブダビの両日本人学校でも順次育てる。

細く、上質な糸を生み出す小石丸は、日本の皇室が育てる純産種。中東では中国産が流通しており、同協議会は今回を機に現地との友好を深め、純日本産シルクの輸出につなげる。

同市更木地区はかつて養蚕が盛んだったが、化学繊維の普及で衰退し現在、個人の生産者はいない。同市では2018年から、養蚕イノベーション創出プロジェクトを打ち出し、再興に動いている。国際プロジェクト参加の背景には、こうした地元の熱意もある。

高橋敏彦市長は「北上産の輸出につながるといい。地元の桑を使った振興策にもなる」と喜ぶ。

教育を介し国際交流も進むとみられ、ドバイ日本人学校の和田政男校長(62)は「同市出身の子は子どもたちを通じて両国の友好を深め、五輪を共に盛り上げたい」と期待する。

北上産絹糸で東京五輪UAE衣装

東京五輪でアラブ首長国連邦(UAE)代表が着る民族衣装を北上市産の絹糸などで仕立てる国際プロジェクトに向けたオンライン授業は18日、同市で行われた。地元養蚕関係者が講師を務め、プロジェクトに携わるドバイ日本人学校の児童らが参加。養蚕の奥深い世界に触れ、成功に向けて意欲を高めた。

国際事業成功へ一歩

現地邦人児童と交流 養蚕への興味育む

授
オン
ライ
ン
業



同日は、同市更木で養蚕業に取り組む市地域おこし

協力隊の松岡芽さん(27)がオンライン会議アプリを用いて、地区内の桑畑から中継。養蚕について児童17人から寄せられた質問に答え

た。松岡さんは「清潔な環境

下で適切な温度と湿度を保ち、愛情を持って育てることが大切だ」と語り掛け、蚕の成長過程や糸の紡ぎ方などを丁寧に解説。児童は今秋から蚕の飼育を始める予定で、養蚕に理解を深めた。

プロジェクトは、両国の政府や民間企業などをつくるUAE-INIPPON友好シルク協議会(東京)が企画。更木小など国内10校とドバイ、アブダビの日本人学校2校の児童が連携して、日本純産種の蚕「小石丸」を育てる。

繭は日本国内で生地にした後、UAEナショナル・オリンピック委員会へ供給。それを原料に、東京五輪の開会式でUAE代表団が着る民族衣装や西国の国旗を仕立てる。

更木小は各校に先駆け、スマートフォンを用いてドバイ日本人学校の児童にオンラインで養蚕の魅力を伝える松岡芽さん

岩手日報 2020. 6. 19

北上市出身で授業を見守ったドバイ日本人学校の和田政男校長(62)は「蚕を飼いたい気持ちが高まったはずだ。プロジェクトを支える多くの人への感謝を忘れないでほしい」と児童に呼び掛けた。

(斉藤元)

【新型コロナウイルス感染症への対応】 ※前回定例会以降

<5/27(水)>

10:00 第8回北上市教育委員会定例会

- ・これまでの新型コロナウイルスへの対応について説明。

<6月1日(月)>

9:30 市対策本部会議⑮

- ・緊急事態が解除されているが、市対策本部は継続し、任意設置の対策本部とする。
- ・「新型コロナウイルス対策(第7報)」の通り警戒を継続しつつ、経済・社会活動の再開を行う。
- ・新型コロナウイルス感染症が発生した場合には、速やかに強いまん延防止策をとる。

<6月16日(火)>

- ・「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」～学校の新しい生活様式～

文部科学省(2020.6.16 Ver.2)から通知

<6月19日(金)>

15:00 「学校の新しい生活様式を受けた北上市立小中学校の教育活動(通知)」 【資料3】

各学校長あてメール配信

- ・文部科学省からの通知内容
- ・市教委としての修学旅行対応等

<6月23日(火)>

10:00 第9回北上市教育委員会定例会

- ・これまでの新型コロナウイルスへの対応について説明。

【第253回北上市議会6月通常会議】 ※新聞報道のみ

タブレット端末を
児童生徒に配備へ
【北上市】藤本金樹(新清会)、
藤田民生(北政会)、高橋洋(北
新ネット)、三宅靖(北上まほろ
ばクラブ)、高橋久美子(共産党
北上市議団)の5氏が一般質問し
た。

小中学校の情報通信技術(ICT)化に向けた国のGIGAスクール構想への対応について、平野憲教育長は「児童生徒に1人1台のタブレット端末を配備する。プロポーザル(企画提案)方式を採用して7月に公募し、8月上旬に機器を選定する。来年度には学校教育研究所にICT活用に向けた部会を新設する」と答弁した。

岩手日報 2020.6.18

公共交通事業へ
追加経済対策
北上・一般質問

北上市議会6月通常会議は18日、本会議を再開し一般質問が行われた。市側は、新型コロナウイルス感染症で影響を受けたバスやタクシーなど公共交通の事業者支援に向けた補正予算案を計上し、本通常会議で提案する方針を示した。

【中略】

学校現場の対策について、平野憲教育長は「各校で定期的な換気やマスク着用、手洗い、検温を徹底し給食は対面で食べないようにし、教員にはフェースシールドを配った。マスクは熱中症対策で必要に応じ外すよう徹底していく」と答えた。

市内各小中学校へのエアコン設置について、斎藤昌彦教育長は「保健室は今年度発注し、職員室は来年度整備していく」と強調。エアコンは2019年度、各小中学校の普通教室に設置され、残る7校には今年度整備される。

岩手日日 2020.6.19

以上で事務報告を終わります

学校の新しい生活様式を受けた北上市立小中学校の教育活動

令和2年6月19日(金)
北上市教育委員会学校教育課作成



【資料3】

1. 6月16日(火)文部科学省が示すマニュアル2

資料の概要

- ・長期間、この新たな感染症とともに、社会で生きていくために「3つの密」の同時重複を避ける
- (1) 身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い
- (2) 身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い
- ・新しい生活様式を踏まえ学校での行動規準「レベル1の対応」
- ・身体的距離の確保は、1mを目安に学級内で最大限の間隔をとる
- ・感染リスクの高い教科活動は、十分な感染対策を行った上で実施
- ・各教科における「感染症対策を講じてもおお感染のリスクが高い学習活動」
- (1) 児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等
- (2) 近距離で一斉に大きな声で話す活動
- (3) 理科における実験や観察
- (4) 音楽における合唱及びびりコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏
- (5) 図画工作、美術、工芸における共同制作等の表現や鑑賞の活動
- (6) 家庭、技術・家庭における調理実習
- (7) 体育、保健体育における児童生徒が密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動
- ・上記の学習活動は、可能な限り感染対策を行った上で実施することを検討。
- ・マスクの着用では、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合、マスクを外すこと

3. 北上市立小中学校の教育活動

- (1) 手洗いは、外から教室等に入る時やトイレの後、給食の前等
- (2) 換気は、休み時間毎に2方向のそれぞれ1つ以上の窓を広く開けて行う
- (3) 教室やトイレ等のドアノブ等については、適宜清掃のこと
- (4) スクールバス乗車の際、定期的に換気、利用者の座席を可能な限り離すこと
- (5) 給食の配食時は、マスクを着用し、会食は、当面向かい合わせにしない
- (6) 水泳学習は、様々な感染リスクへの対策を講じながら実施する
※ 残留塩素濃度はプールなどの部分でも「0.4mg/L以上」となるよう管理
- (7) 学校の体育の学習は、マスクの着用は必要ないこと
- (8) 熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合、マスクを外すよう指導
- (9) 部活動等は、県内の学校と練習試合や合同練習を行うこと
- (10) 修学旅行については、2学期以降に延期すること
- (11) 北上市の地域感染レベルは1であることから、各教科における「感染症対策を講じてもおお感染のリスクが高い学習活動」で示された学習活動については、可能な限りの感染対策を行った上で実施してよいこと
- (12) 6月20日以降、校外学習は、宿泊やバス利用を含めて実施してよいこと

4. 北上市教育委員会が示す修学旅行の指針

- (1) 小中学校の修学旅行は、旅行開始前後の感染状況の変化等により、変更や中止の可能性があることについて、児童生徒や保護者の理解を得ること
- (2) 小中学校の修学旅行は、訪問先の感染拡大の有無を見て、感染が確認されている場合、その地区への旅行を避ける対応を検討することとし、その他の地区で旅行実施の際は、感染防止対策の事前指導を行うこと

2. 6月1日(月) 岩手県から外出する際のお願い

発表の概要

- ・基本的に外出を自粛する必要はないこと
- ステップ1 (6/1～6/18) 県をまたぐ移動 可 観光 注意
- ステップ2 (6/19～7/9) 県をまたぐ移動 可 観光 注意
- ステップ3 (7/10～7/31) 県をまたぐ移動 可 観光 注意
- 移行期間後 (8/1以降) 県をまたぐ移動 可 観光 可
- ・「3つの密」の同時重複となる場への外出は控えること。

感染症が疑われる場合の対応

- (1) 次の症状がある場合は、帰国者・接触者相談センター(019-651-3175)やかかりつけの小児医療機関に相談する
 - ・息苦しさや強いだるさ、高熱等の強い症状がある
 - ・重症化しやすいお子さんで、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある
 - ・上記以外で、発熱や咳等比較的軽い風邪の症状が続く
- (2) 児童生徒が新型コロナウイルス感染症に罹患したことが判明した場合は、速やかに学校に連絡するよう保護者に伝えておくこと



© 2020 kitakami city

今後市内・県内での新型コロナウイルス発生症例等があれば直ちに変更する可能性があります。